

府中東部地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	府中 江尻、天橋、難波野、大垣	令和5年3月	

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	5.10 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	4.69 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	2.18 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.25 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.33 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題
地域全体が農振農用地になっておらず、ほ場整備がされていない中で耕作を継続されている。これにより国の日本型直接支払交付金を活用することができず、営農基盤の維持が負担となっている。加えて、高齢化等により担い手が減少し、鳥獣防護柵の維持管理に支障が出ている。東部農業振興協議会として耕作者を中心にした組織があったが、令和元年度に解散している。現在の就農者は7割が65歳以上であり、アンケート結果でも明確に後継者があると答えられた方は2名であった。 今後は、非農家を含めた地域全体で農地の維持について検討を進める必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。
